



ハートランド しぎさん看護専門学校

令和 3 年度

入 学 試 験

過去問題の紹介

入学希望者の皆様へ

入学試験科目は、

国語Ⅰ・国語Ⅱ・教養問題 (英単語・計算のみ) です。

本校の学科試験は、決して難易度の高いものではなく、入学後の学習に支障をきたさない程度の基礎的な知識を持ち合わせておられるか否かを判断させていただくものです。

各科目のポイントと、過去に出題した問題の一部をまとめましたので、学習の参考にしてください。

[教養問題 (英単語・計算のみ)] 試験時間 60 分

ポイント 教養問題では、高校入試レベルの英単語と計算問題に特化した内容が出題されます。

※下記は入試問題の一部の為、実際の問題数とは異なります。

過去問題 1 次の日本語を英語にする際に () に入る最も適切な英単語を選択肢①～④の中から選びなさい。

- (1) 水の流れ the () of water
① flavor ② flow ③ flight ④ flood
- (2) 目標を達成する achieve the ()
① conservative ② objective ③ instructive ④ competitive
- (3) アルコールは脳に影響する。Alcohol () the brain.
① appeals ② effects ③ appoints ④ affects
- (4) 夢中にさせる物語 a () story
① feeding ② flourishing ③ floating ④ fascinating

過去問題 2 次の英単語の最も適切な意味を選択肢①～③の中から選びなさい。

- (1) stroke ① 心臓麻痺 ② 内出血 ③ 脳卒中
- (2) educate ①を治療する ②を教育する ③を学習する
- (3) boundary ① 抗争 ② 団結 ③ 境界
- (4) leap ① 跳ぶ ② 進む ③ 走る

過去問題 3 次の日本語を英語にする際に () に入る最も適切な英単語を答えなさい。

- (1) メッセージを伝える () messages
- (2) 彼は健康状態がいい。 He is in good ().
- (3) 気分が悪い。医者に行って診てもらおう。
I feel sick. I'll go and ().

過去問題 4 次の英語を日本語にしなさい。

- (1) go down the stairs
- (2) brain death
- (3) after all
- (4) branch

(数学) 正数・分数・小数の基本的な計算問題が出題されます。下記は昨年度の問題です。
※下記は入試問題の一部の為、実際の問題数とは異なります。

過去問題 5 次の計算をなさい。

(1) $6x - 3y - 4x + 7y$

(2) $9380 - 2472 + 8834 - 2240$

(3) $\frac{1}{2}(x-4) - \frac{2}{5}(x-5)$

(4) $27a^2b \div (-9ab)$

(5) $(\sqrt{13} + 2)(\sqrt{13} - 2)$

過去問題 6 次の方程式を解きなさい。

(1)
$$\begin{cases} 4x + 5 = 3y - 2 \\ 3x + 2y = 16 \end{cases}$$

(2) $0.75x - 1 = 0.5x$

(3) $1.3x - 2 = 0.7x + 1$

(4) $x^2 + 4x + 4 = 5$

(5) $x - 1 = 3x + 3$

過去問題 7 次の式を因数分解しなさい。

(1) $x^2 + 3x - 28$

(2) $2x^2 - 16xy + 32y^2$

(3) $6a^2b - 4ab^2 + 8ab$

過去問題 8

- (1) A、B 2つの容器があり、Aには食塩水が500g、Bには4%の食塩水が300g入っています。Aの食塩水のうち75gをBに移し、よく混ぜたところ、Bの食塩水の濃度は4.8%になりました。Aに入っている食塩水の濃度は何%になるかを求めなさい。

解答例

教養問題

過去問題 1 (1) ② (2) ② (3) ④ (4) ④

過去問題 2 (1) ③ (2) ② (3) ③ (4) ①

過去問題 3 (1) transmit (2) health (3) see a doctor

過去問題 4 (1) 階段を下りる (2) 脳死 (3) 結局 (4) 枝

過去問題 5 (1) $2x+4y$ (2) 13502 (3) $\frac{1}{10}x$ (4) $-2a$ (5) 9

過去問題 6 (1) $x=2, y=5$ (2) $x=4$ (3) $x=5$

(4) $x=-2 \pm \sqrt{5}$ (5) $x=-2$

過去問題 7 (1) $(x+7)(x-4)$ (2) $2(x-4y)^2$ (3) $2ab(3a-2b+4)$

過去問題 8 (1) 8%

国語 I

過去問題 1 問一 (あ) エ (い) イ (う) ウ (え) オ (お) ア

問二 ① イ ② ウ ③ ア

問三 イ

問四 ウ

問五 イ カ (順不同)

問六 あなたの例

問七 ① イ ② イ ③ ウ ④ イ ⑤ ア

過去問題 2 問一 ① ウ ② イ ③ 大樹の陰

問二 ① イ ② ア

問三 ① 過ち ② 往来 ③ 趣 ④ 偏った ⑤ 解毒剤
⑥ 快い ⑦ 遮る ⑧ 賠償金 ⑨ 養蚕 ⑩ 和んだ
⑪ 充満 ⑫ 虚偽 ⑬ 為替 ⑭ 克服 ⑮ 歓迎
⑯ じょうぜつ ⑰ はなは ⑱ おえつ ⑲ しんらつ ⑳ はたん

国語 II

過去問題 1 問一 ④

問二 ②

問三 ②③

「国語Ⅱ」 試験時間 20分

ポイント

入学後、「文章を正しく読み取ることが重要ですので、読解力を問う問題は出題されます。よって、問題Ⅱには短文形式の読解問題が出題されます。

※下記は入試問題の一部の為、実際の問題数とは異なります。

問一、次の文を読みなさい。

腸内には多くの常在菌が生息している。大腸内の細菌は総重量

1. 5 kgにもなり、排泄される糞便も、その50%は細菌やその死骸である。

この文脈において、「その50%」の「その」は何を指すか。最も適当なものを選びなさい。

- ① 腸内
- ② 常在菌
- ③ 大腸
- ④ 糞便

問二、次の文を読みなさい。

熱硬化性プラスチックはかたく、熱や薬品に強いことから、調理器具などに使用されている。

この文が表す内容と次に示す文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

熱硬化性プラスチックは、調理器具などに使用することから、かたく、熱や薬品に強い。

- ① 同じである
- ② 異なる

問三、次の文を読みなさい。

正の整数を自然数という。また、不足数とは、その約数の総和が元の数の2倍より小さい自然数のことである。

「不足数」にあてはまるものを選択肢の中からすべて選びなさい。

- ① 0
- ② 1
- ③ 3
- ④ 6

というたとえに使われ、これの対義語に、「寄らば B」があった。

①、右の文章中のア～エの中で、「同じ言葉を嫌になるほど繰り返して言う」という意味での慣用句はどれか。記号を書きなさい。

②、Aに入る言葉を、次のア～エから選び、答えなさい。

ア、格好だけで実際に役に立たない

イ、大きな組織に入って上の人に付き従い言いなりになるより、小さな組織だとしても上に立つほうがよい

ウ、他人の批判をする前に、自分の過去の言動を見つめ直してよく考えるべきだ

エ、意見が多過ぎるとまとめることが困難で、物事がなかなか実現しない

③、Bに入る言葉を答えなさい。問三 次の会話の空欄に当てはまる最も適切な表現を、後のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

問三、次のような場面にあったときの言い方として最も適切なものを選び、それぞれ番号で答えなさい。

①、担任の先生から、校長先生を見かけなかったかと聞かれて

ア、さつき、体育館のほうへ歩いていくのを見かけました

イ、さつき、体育館のほうへ歩いて行かれるのを見かけました

ウ、さつき、体育館のほうへ歩いていくのをご覧になりました。

②、病院のエレベーターの前で、自分の後ろに並んでいたお年寄りに

ア、私は階段を使いますから、どうぞお乗りください。

イ、私は階段を使いますから、どうぞお乗りしてください。

ウ、私は階段を使いますから、どうぞお乗りになられてください。

過去問題2

次の各問いに答えなさい。

問一、次の①～⑳の傍線部について、漢字の部分はその読みをひらがなで書き、カタカナの部分は漢字に直しなさい。なお、漢字に直す場合、送り仮名が必要なものは、ひらがなで正しく送ること。

- ①、アヤマチを償う。
- ②、車が激しくオウライする。
- ③、オモムキのある風景を眺める。
- ④、カタヨツタ食生活を改善する。
- ⑤、ゲドクザイを調合する。
- ⑥、ココロヨイ音色に耳を傾ける。
- ⑦、相手の言葉をサエギル。
- ⑧、バイショウキンの支払いを命じる。
- ⑨、かつてはヨウサンが盛んだった。
- ⑩、子どもの言葉にみんながナゴンド。
- ⑪、部屋中に煙がジュウマンする。
- ⑫、キヨギの証言をしたことが不利になった。

⑬、カワセと株の値動きをチェックする。

⑭、苦手な教科をコクフクする。

⑮、転校生のカンガイ会を開く。

⑯、お酒が入ると、彼は饒舌になる。

⑰、勘違いも甚だしい。

⑱、教室に彼女の嗚咽が響いた。

⑲、辛辣な言葉に挫けそうになる。

⑳、関係の破綻が目前に迫っている。

問二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

身体の部位名の含まれた慣用句を学習したので、私は「口」のついたものを図書館で調べてみた。すると、次のようなものがあつた

ア、無駄口をたたく　イ、口裏を合わせる　ウ、口が酸っぱくなる　エ、糊口をしのぐ

さらに色々調べているうちに「鶏口牛後」という四字熟語を見つけた。「鶏口」は鶏の口ばし、「牛後」は牛の尾のことで、

A

問四、傍線部（1）僕がこのキャリア教育科目でみなさんにぜひお伝えしたいのは、このことです。とあるが、筆者はどのようなことを伝えたかったのか。次の選択肢の中から当てはまらないものを選び、記号で答えなさい。

ア、「あなたの中に眠る能力を掘り起こし、発動しろ」という仕事からの依頼に応えていく中で、自分が今、しなければならぬ仕事に合わせ、自分の能力を選択的に開発していく必要があるということ。

イ、自分にとってのベストパートナーを求めて結婚に踏み出せない人と、天職を求め自分の適性に合わないからと仕事を辞めてしまう人と、理想の入れ歯を求めて歯科医をコロコロ変える人の話は同じことを指すということ。

ウ、与えられた条件のもとで最高のパフォーマンスを発揮するように、自分自身の適性を見定め、その強みを生かして仕事をしていくことがキャリア教育のめざす目標であるということ。

エ、結婚も就職も同じで、結婚してみないと、配偶者としての能力や資質が自分にあるかどうかや、結婚後幸福になるか不幸になるかは、結婚する前にはわからない。それは結婚生活の幸福は自然過程ではなく、自力で構築するものであるためだということ。

問五、空欄 X・Y に当てはまる言葉を、次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。（順不同）

ア、利己的　イ、効率的　ウ、具体的　エ、包括的　オ、不可逆的
カ、合理的

問六、傍線部（2）ポストが人を作るとあるが、この「ポスト」とはどのような意味を含んでいるか。二十五字以内で探し、最初の五字を書き抜きなさい。

問七、文中には傍線部（3）全く正反対のことを言っている、とある。以下の例は、ア筆者の考え、イふつうのキャリア教育で語られていること、のどちらについて説明しているものか選びなさい。また、どちらにも当てはまらない場合にはウと書きなさい。

- ①、子どもを苛烈な競争の中に入れ、才能を伸ばすこと
- ②、利己的な動機に触発され、潜在能力が開花すること
- ③、神が定めた自分の天職であると信じ、伝導すること
- ④、真面目に勉強し、自分の適性に合った仕事を見つけること
- ⑤、世の中の状況や人に頼まれ、自分自身がやるしかない状況になると

いま支配的な教育観は「自分ひとりのため」に努力する人間のほうが「人のため」に働く人よりも、競争的環境では勝ち抜くチャンスが高いという判断の上に成り立っています。私利私欲を追求するとき人間はその資質を最大化する。隣人に配慮したり、「公共の福利」のために行動しようとする、パフォーマンスは有意に低下する（「嫌々やらされているから」）。それが現代日本において支配的な人間観です。

え、子どもたちの能力を上げようとしたら、とにかく苛烈な競争の中に叩き込めばいいと教育行政の人たちは考えている。評論家たちも、メディアもそう言い募っている。学習成果を数値的に公開する。順位格付けに一喜一憂させる。勝った人間には報酬を、負けた人間には罰を与える。勝者が「総取り」し、敗者には何も残さない。そういう「弱肉強食」型のストレスをかければ、子どもたちは生き残りをかけてめっちゃめちゃに勉強するようになるだろう、と。教育を論じる人たちはそういうふうと考えてきた。

お、やってみたら、そうはならなかった。なるはずがないんです。繰り返し言うように、人間がその才能を爆発的に開花させるのは、「他人のため」に働くときだからです。人の役に立ちたいと願うときにこそ、人間の能力は伸びる。それが「自分のしたいこと」であるかどうか、自分の「適性」に合うかどうか、そんなことはどうだっていいんです。とにかく「これ、やってください」と懇願されて、他にやってくれそうな人がいないという状況で、「しかたないなあ、私がやるしかないのか」という立場に立ち至ったときに、人間の能力は向上する。ピンポイントで、他ならぬ私が、余人を以ては代え難いものとして、召喚されたという事実が人間を覚醒に導くのです。

宗教の用語ではこれを「召命」(vocation)と言います。神に呼ばれて、ある責務を与えられることです。でも、英語の vocation にはもう一つ世俗的な意味もあります。それは「天職」です。calling という言葉もあります。これも原義は「神に呼ばれること」です。英和辞典を引いてください。これにも

「天職」という訳語が与えられています。

「天職」というのは就職情報産業の作る適性検査で見つけるものではありません。他者に呼ばれることなんです。中教審が言うように「自己決定」するものではない。「他者に呼び寄せられること」なんです。自分が果たすべき仕事を見出すというのは本質的に受動的な経験なんです。そのことをどうぞまず最初にお覚え願いたいと思います。

問一、文中の空欄あゝおに入る最も適切な語句を次の中からそれぞれ選び、記号で答えよ。

ア、でも イ、それよりは ウ、以上 エ、そして オ、だから

問二、文中の傍線部①ゝ③のカタカナを熟語に直すとどうなるか。最もよく当てはまるものをそれぞれアゝエの中から選び、記号で答えなさい。

- ①、エゴイスト
ア、実存主義者 イ、利己主義者 ウ、本質主義者 エ、楽観主義者
- ②、イノセント
ア、熱烈な イ、鮮烈な ウ、純潔な エ、柔らかな
- ③、マインドセット
ア、無意識な思考のクセ イ、決まっている手順 ウ、気持ちの整理
エ、内面の声

問三、本文には、次の一文が脱落している。どの文の後ろに入るのが最も適切か文中の選択肢アゝオの中から一つ選び、記号で答えなさい。

○ 就職というのはその点で「結婚」と似ています。

奇妙な話ですが、天才的な素質に生まれついた人は、それが周囲の人から見てどれほど例外的に卓越した能力であっても、自分ではそれを「あまりたいたことないものだ」と思っています。生まれてからずっとそうだから。勉強でもスポーツでも芸術でも、こういうことは「できて当たり前」だと思っている人に「すごい能力ですね」と言っても、「はあ」という程度の反応しかない。そういう人は逆にあまり生得的な能力のない分野について「こういうことをしたい」という、いささかお門違いの夢を持っていたりする。

アーサー・コナン・ドイルが『シャーロック・ホームズ』の印税を惜しげもなくスピリチュアリズムの伝道活動に投じたのとか、アイザック・ニュートンが真のライフワークは錬金術とバイブル・コード（聖書に隠された暗号）の解読だと思っていたのはその好個の適例です。コナン・ドイルがシャーロック・ホームズの連作を書き続けたのは、「書いてくれ」という読者の強い要請があったからです（本人はもう書くことにうんざりしていたらしいです）。でも、書くことと思えばいくらでも書けるから、それが際立った才能だということにコナン・ドイル自身は気づかない。それよりは、心靈主義の伝道のほうを「神が定めた自分の天職」だと思っていた。「天職がある」という信憑は、かの天才たちの判断をさえ曇らせたのです。

天才でさえ勘違いするんですから、われわれ凡人が「ほんとうにしたいこと」とや「自分の天職」で勘違いすることはまず不可避である、と。そう申し上げてよろしいかと思えます。そんな「内面の声」に耳を傾ける暇があったら、まわりの人からの「これ、やって」というリクエストにこやかに応じたほうがいい。たいていの場合、自分の能力適性についての自己評価よりは、まわりの人の外部評価のほうが正確なんです。「これ、やって」というのは「あなたの例外的な潜在能力はこの分野で発揮される」という先行判断を含意しています。そういう言葉には素直に従ったほうがよい。

う、キャリア教育の原則的なことについて、僕の意見を申し上げます

た。ふつうのキャリア教育で語られていることと⁽³⁾まったく正反対のことを言っているように聞こえると思えますけれど、実際に正反対なんです。僕は今の行政主導で行われているキャリア教育というのは、まったくキャリア教育として役に立たないと思っています。今の行政のキャリア教育の大枠というのできたのは、少し前の中教審答申からですが、基本のスキームは「自己決定・自己責任」論と、「自分探し」論です。

日本社会は集団主義だからダメだ。グローバル化の時代、世界各国が経済的な生き残りをかけて競い合う「メガ・コンペティション」の時代なんだから、「みんなで仲良く」なんてのんきなことを言っていたら取り残される。これからはひとりで決定し、ひとりで責任を負い、リスクを取り、利益も独占する、そういうタイプの「強い個人」を教育機関は輩出せねばならない、と。そういう教育観が語られました。今はもうずいぶん温度が下がったと思いますけれど、小泉純一郎政権の末期まではそういう考え方が主流でした。その中でさまざまな教育改革が立案され、施行されたのです。キャリア教育もその一つです。

それは要するに「競争に勝ち抜く人間になれ」ということに尽きたわけですね。もともと自己教育しろ、もともと知識や技術を身につける、資格や免許を手に入れる。自己利益を安定的に確保したいと思ったら、もともとまじめに勉強して、ががつ就活して、ばりばり働け。そういうふうにする人がたくさんいました（残念ながら、うちの大学にも）。

僕はそういうのは大学でやることじゃないと思っています。教育の場に長くいた人間として、僕が経験的に言えることは、先ほども申し上げたように、人間の潜在能力は「他者からの懇請」によって効果的に開花するものであり、自己利益を追求するとうまく発動しないということです。平たく言えば、「世のため、人のため」に仕事をするとどんどん才能が開花し、「自分ひとりのため」に仕事をしていると、あまりぱっとしたことは起こらない。

質がないようにふるまっています、子どもが生まれた瞬間に「スイッチ」がオンになるといふほうが、生物のシステムとしてはずっと X だし Y だと思います。

子どもを育てて自分のDNAを次代に残すことは生物にとつて最優先課題ですよ。それほど重要な能力でさえ、必要になったときにしか発動しない。それ以前に仮に「親になるための適性テスト」なんかやっても（「あなたも赤ちゃんのうんちを手で触れますか？」とか）、たぶん父性愛なんか検知できないと僕は思います。

育児以外のことについても話は同じだと僕は思っています。その能力が必要とされたときにはじめて潜在能力は発動する。

外国語がそうです。なんとなく英会話学校に通つてもたぶん英会話能力は開発されない。必要がないから。街で外国人に英語で道を聞かれたときに困るから、という理由で英会話を始めても、むりですよ。僕だって街でいきなり英語で話しかけられたことなんか、生まれてから一回しかないですもの。村上春樹さんがこう書いてます。

「外国語というのは必要に迫られればある程度は話せるようになる。逆に言えば、必要に迫られなければまず駄目だ。これはとても単純な結論だけれど、厳然たる真実です。必要に迫られれば人間の体内には特殊な分泌液のようなものが溢れ出てきて、それが集中力をかきあつめて語学の習得を可能にするのではないかと僕は想像しているのだが、その科学的な真偽は定かではない。」

僕の友人で学芸員をやっているオオタクくんは、フランス留学から帰ってきたらフランス語運用能力が一気に向上していました。何があったの、と訊いたら、パリで奥さんが出産して、そのとき分娩室で泣き叫ぶ奥さんの言葉を逐一フランス語で医師に通訳しているうちに、脳内で何かケミカルな異変が起きて、突然フランス語がすらすらと出てくる人間になったそうです。たぶ

ん、そういうものなんでしょうね。

このことから知られるのは、潜在能力が爆発的に開花するのは、自分のためというよりは、むしろ自分に向かつて「この仕事をしてもらいたい」と懇請してくる他者の切迫だということです。父性愛を何よりも必要としているのは、親の支援と保護がなければ生きていけない子どものほうです。子どもの側からの「ケアしてください」という懇請にこたえて、僕たちは「親の愛情」というものを発動させる。まずまず「親としての適性」があり、それを全面開花させるために子どもを作るわけではありません。

「潜在能力を選択的に開花させる」というふうには先に書いたのは、そのこととです。開花する才能は自分で選ぶものではありません。この能力が開花したら、金が儲かるとか、権力や威信が手に入るとか、人に自慢できるとか、そういう利己的な動機に賦活されて潜在能力は発動するわけではない。もちろん、そういうエゴイステイックな動機づけも才能の開花にはいくぶんかは役に立つかもしれませんが。でも、そんな「せこい」動機では、潜在能力の全面的かつ爆発的な開花というようなカラフルな出来事は起こりません。人間が大きく変化して、その才能を発揮するのは、いつだって「他者の懇請」によつてなのです。

よく「②ポストが人を作る」と言いますが、ほんとうにそうなんです。「ポスト」というのは言い換えれば「他者からの期待」ということです。こういう能力を持つ人が、こういうクオリティの仕事を完遂してくれたら「ありがたいな」という周囲の人々の期待がポストに就いた人の潜在能力を賦活する。

仕事について考えるときに、ことの順番を間違えてはいけないというのはそのことです。「自分が何をしたいか」「自分には何ができると思っているか」には副次的な意味しかありません。こと生得的才能に関しては、自己評価ほど当てにならないものではありません。

引き換えにこの子を救ってやる」と言われたら、「ほいほい」とためらわず死ぬるくらいに、子どもがかわいかった。エ

びつくりしました。自分にこんなに激しく、深く人を愛する能力があるなんて知らなかったから。それまで「ウチダは冷たい奴だ」「ウチダは①エゴイストだ」ってずっと言われていたので、こんな無防備なくらいに②イノセントな感情が自分の中にあるなんて、思ったことがなかった。考えてみれば当たり前前でですけど、子どもを持つてみないと「親になる能力」が自分にあるかどうかなんて、わからない。オ

でもね、それだったら、結婚も、就職も一緒だということも想像がつくと思うんです。結婚してみないと、配偶者としての能力や資質が自分にあるかどうかなんてわからない。どれほど相手を愛することができるか、わからない。不安でしょうけど、結婚したあと幸福になるか不幸になるかは、結婚する前にはわからない。それは結婚生活の幸福は自然過程じゃなくて、自力で構築するものだからです。

結婚は入れ歯と同じである、という話があります。これは歯科医の人に聞いた話ですけど、世の中には「入れ歯が合う人」と「合わない人」がいる。合う人は作った入れ歯が一発で合う。合わない人はいくら作り直しても合わない。別に口蓋の形状に違いがあるからではないんです。③マインドセットの問題なんです。

自分のもともとの歯があったときの感覚が「自然」で、それと違うのは全部「不自然」だから厭だと思っている人と、歯が抜けちゃった以上、歯があったときのこと忘れて、とりあえずご飯を食べられれば、多少の違和感は許容範囲内、という人の違いです。自分の口に合うように入れ歯を作り替えるようにする人間はたぶん永遠に「ジャストフィットする入れ歯」に会うことができないで、歯科医を転々とする。それに対して、「与えられた入れ歯」ととりあえずの与件として受け容れ、与えられた条件のもとで最高のパフォーマンス

ーマンスを発揮するように自分の口腔中の筋肉や関節の使い方を工夫する人は、そこその入れ歯を入れてもらったら、「ああ、これでいいです。あとは自分でなんとかしますから」ということになる。そして、ほんとうにそれでなんとかなっちゃうんです。

このマインドセットは結婚でも、就職でも、どんな場合でも同じだと僕は思います。最高のパートナーを求めて終わりなき「愛の狩人」になる人と、天職を求めて「自分探しの旅人」になる人と、装着感ゼロの理想の入れ歯を求めて歯科医をさまよう人は、実は同類なんです。④僕がこのキャリア教育科目でみなさんにぜひお伝えしたいのは、このことです。

もう一度言いますね。与えられた条件のもとで最高のパフォーマンスを発揮するように、自分自身の潜在能力を選択的に開花させること。それがキャリア教育のめざす目標だと僕は考えています。この「選択的」というところが味噌なんです。「あなたの中に眠っているこれこれの能力を掘り起こして、開発してください」というふうには仕事のほうがリクエストしてくるんです。自分のほうから「私にはこれこれができます」とアピールするんじゃない。今しなければならぬ仕事に合わせて、自分の能力を選択的に開発するんです。

それはぼくが子どもができたせいで「父性愛」を開発したのと同じプロセスです。よく考えればわかりますけれど、子どもがいない段階でテンションの高い「父性愛」なんか持っていないも、意味がないんです。意味がないというよりむしろ有害でしょう。「ああ、早く父親になって死ぬほど子どもをかわいがりたい」なんて思っている男って、いたら気持ち悪くないですか。

そういう人は当然ながら、自分に子どもがいないことを「欠如」というふうにとらえている。だから、早く父親になりたくてイラついている。結婚しても妻に「早く子ども産めよ」と八つ当たりしたり、我慢できなくなると、近所の可愛い子どもを誘拐したりするかもしれない。

イ、子どもが生まれるまでは父性愛は発動しないで、まるでそんな資

「国語」(古文・漢文除く)「試験時間60分

ポイント

入学後、常用漢字の「読み書き」「敬語の正しい使い方は重要ですので、漢字・熟語・敬語等の知識を問う問題は出題されます。また、文章を読み取る力、内容を要約する力、つまり「読解力が求められます。よって、問題1には長文読解問題が必修で出題されます。」

※下記は入試問題の一部の為、実際の問題数とは異なります。

過去問題1

次の文章を読んで、問一〜問七に答えなさい。(ただし、字数指定のある問いは全て句読点・記号も一字とする。)

就職活動を始めるときに、みなさんは最初に「自分の適性」ということを考えます。あ、適性にふさわしい「天職」を探し出そうとする。

自分の適性がよくわからないと仕事を探せないということになっていますので、本学では「適性テスト」というのをみなさん全員が受けます。

でもね、いきなりで申し訳ないけれど、この「適性と天職」という発想そのものが実は最初の「ボタンの掛け違い」だと僕は思います。「適性と天職」幻想にとらえられているから、キャリアを全うできなくなってしまう。僕はそう思います。

勤め始めてすぐに仕事を辞める人が口にする理由というのは、「仕事が私の適性に合っていない」「私の能力や個性がここでは発揮できない」「私の努力が正当に評価されない」、だいたいそういうことです。僕はこの考え方のものが間違っていると思います。仕事っていうのはそういうものじゃないからです。

みなさんの中にもともと備わっている適性とか潜在能力があって、それにジャストフィットする職業を探す、という順番ではないんです。そうではなくて、まず仕事をする。仕事をしているうちに、自分の中にどんな適性や潜在能力があったのかが、だんだんわかってくる。そういうことの順序なんです。

みなさんはまだ学生ですから、自分にどんな適性や潜在能力があるのか、知らない。知らなくて当然なんです。知らなくてもぜんぜん構わないと僕は思っています。ア

自分が何に向いているか知らないままに就職して、そこから自分の適性を発見する長い長い旅が始まるんです。イ

みなさんは、結婚というのはまず「自分にぴったりした配偶者に出会うこと」から始まると思ってますでしょう。それが間違いないんです。そうじゃないのね。「まず結婚する」んです。そこから話が始まる。結婚してみないと、自分がどういう人間なのか、そもそも結婚に何を求めているのかなんて、わからないものです。結婚してはじめて、自分の癖や、こだわりや、才能や、欠陥が露呈してくる。「ああ、オレって『こういう人間』だったんだ」ということがわかる。ウ

僕が自分は「こういう人間」なのかということが身にしてみてわかったのは、結婚して七年してからでした。七年経ったときに、子どもが生まれました。それまで自分が親になるなんて想像したこともなかったから、すごく不安でした。だいたいそれまでも小さい子どもにぜんぜんなつかれなかったもので、自分のことを漠然と「子ども嫌い」な人間だと思っていた。

でもまあ、自分の子どもだから、やるべきことだけはきちんとやろうと思つて育児に取りかかった。そしたら、子どもが生まれて数週間したくらいですかね、もう雷撃に打たれるように壮絶な「父性愛」に目覚めてしまったんですね。子どもを見ていると、もうそれだけでぼろぼろ涙が溢れてくる。かわいくて。この子のためなら死んでもいい、と。「お前が命を差し出せば、

<ハートランドしぎさん看護専門学校 合格への道！>

本校では、オープンキャンパスにおいて入試対策講座を開催致しております。

入試の傾向や看護学生に必要な知識などを本校教員が紹介致しております。

看護師を目指される方は、是非、学校説明会にお越しいただき入試対策講座を受けられることをお奨め致します。

